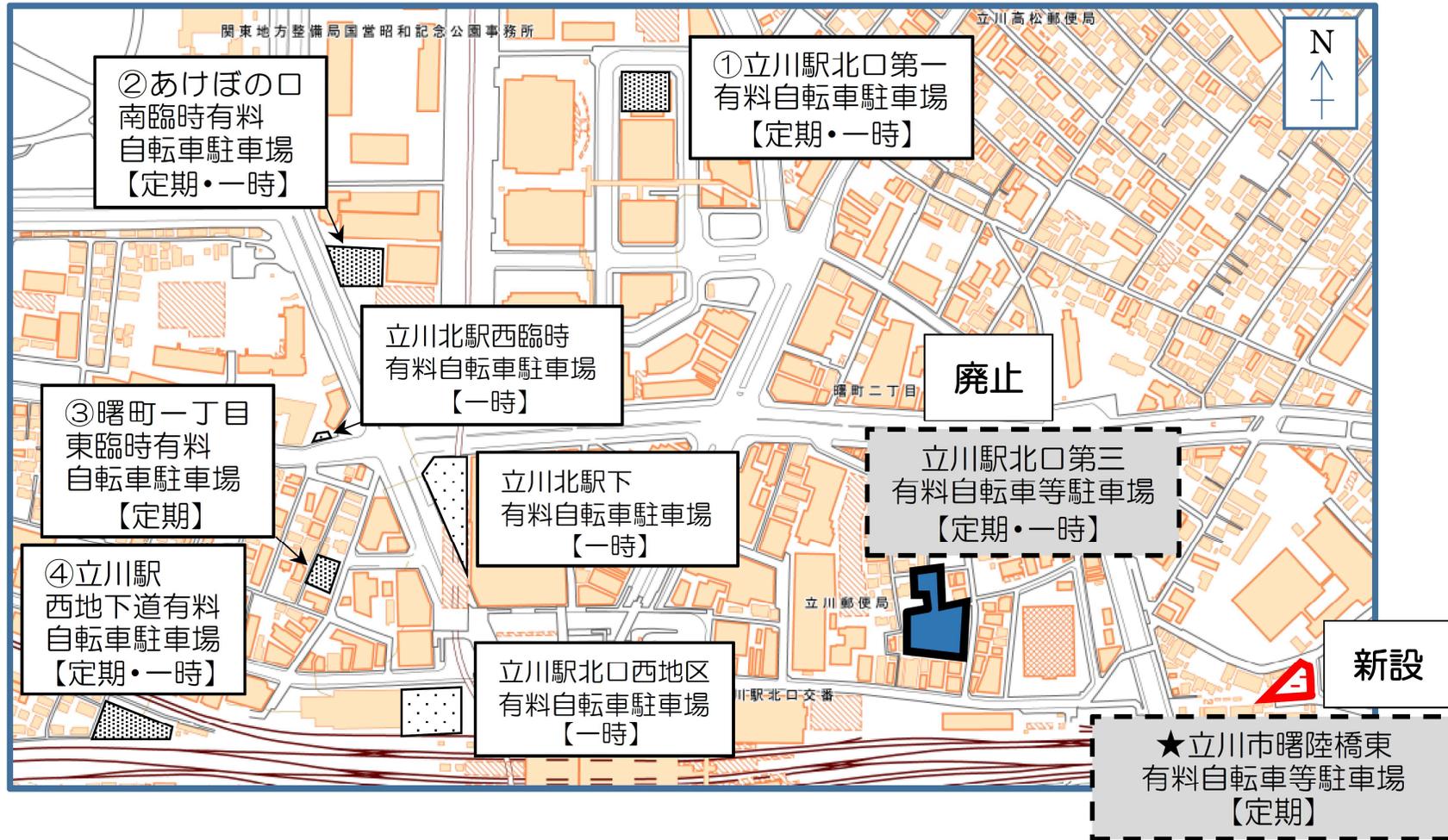


立川駅北口第三有料自転車等駐車場の廃止と 曙陸橋東有料自転車等駐車場の新設について

1 立川駅北口周辺の自転車等駐車場(位置図)



立川駅北口第三有料自転車等駐車場の廃止と 曙陸橋東有料自転車等駐車場の新設について

2 立川駅北口第三有料自転車等駐車場(廃止施設)の概要

(1) 場所 立川市曙町2-15-16

(2) 開設日 平成9年7月1日

(3) 面積 2,170.22m²

(4) 収容台数

種類	一時利用	定期利用	合計
自転車	586台	562台	1,148台
原付	48台	89台	137台

(5) 廃止日 令和5年6月30日

(6) 廃止の理由

土地所有者より、「8/31までの土地の更地返還」を求められたため

(7) 廃止に伴う利用者対応

- ・自転車: 北口周辺の市営駐輪場への移動案内
- ・原付: 民間を含めた立川駅周辺の駐輪場への移動案内
- ・共通: 定期利用の中途解約の対応、一か月単位の定期駐車券の発行

立川駅北口第三有料自転車等駐車場の廃止と 曙陸橋東有料自転車等駐車場の新設について

3 曙陸橋東有料自転車等駐車場(新設施設)の概要

- (1) 場所 立川市曙町3-2-12先
- (2) 土地所有者 東日本旅客鉄道株式会社
- (3) 面積 501m²
- (4) 収容台数 原付:50台 自転車:150台(いずれも定期専用)
- (5) 開設日 原付:令和5年7月1日 自転車:令和5年12月1日(予定)
- (6) 利用料金

種類	駐車区分		定期料金(円)		
			1月	3月	6月
自転車	市内	一般(学生)	1,100(600)	2,900(1,600)	5,600(3,000)
	市外	一般(学生)	1,300(700)	3,500(1,800)	6,600(3,500)
原付	市内	一般(学生)	2,300(1,300)	6,200(3,500)	11,700(6,600)
	市外	一般(学生)	2,700(1,600)	7,200(4,300)	13,700(8,100)

- (7) 指定管理者 日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社
(JR沿線の自転車等駐車場の現指定管理者)

立川駅北口第三有料自転車等駐車場の廃止と曙陸橋東有料自転車等駐車場の新設について

4 曙陸橋東有料自転車等駐車場の整備と運営の概要

該当地は「舗装済み」部分と「未舗装」部分がある➤二段階に分けて開設

段階	開設日	収容台数	運営内容
第一段階 「舗装済み」	R5.7.1	原付50台	まずは「原付の定期専用」として開設
第二段階 「未舗装」	R5.12.1 (予定)	自転車150台 原付50台	原付及び自転車を再配置し、敷地全体で運営



立川駅北口第三有料自転車等駐車場の廃止と 曙陸橋東有料自転車等駐車場の新設について

5 北口第三利用者への対応のまとめ

北口第三廃止までの北口第三利用者への対応は下表のとおり

種類	定期利用	一時利用
自転車	<ul style="list-style-type: none"> ・北口の4つの市営有料駐輪場への移動を案内 ・北口第三の契約者389名(R5.5.10時点)に対し、「移動希望調査」を実施 ➢回答した183名全員が第一希望で当選 	北口の6つの市営有料駐輪場と民間駐輪場への移動を案内
原付	<ul style="list-style-type: none"> ・北口第三の契約者67名(R5.6.4時点)に対し、「曙陸橋東での定期利用の申込案内」を送付。50名の募集枠に対し、70名(新規申込を含む)が応募 ➢抽選を実施し、50名が当選 	民間駐輪場も含めた、立川駅周辺の駐輪場への移動を案内

立川駅北口第三有料自転車等駐車場の廃止と 曙陸橋東有料自転車等駐車場の新設について

6 北口第三廃止後の利用状況について

北口第三廃止後における立川駅周辺の市営有料駐輪場の利用状況は下表のとおり

種類	定期利用	一時利用
自転車	北口第三利用者が北口の4つの市営有料駐輪場へ移動したが、いずれもまだ空き枠がある	6月と7月の比較で、2つの市営有料駐輪場で利用が増加している ・北口西地区:30台増(306台→336台) ・コトリンク:121台増(557台→678台)
原付	曙陸橋東を新設したが、抽選が続く見込み	6月と7月の比較で、コトリンクで利用が増加している ・11台増(24台→35台)

自転車 ➤ 立川駅全体においては、供給 > 需要の状態

原付 ➤ 北口第三廃止直後においては、供給 < 需要の状態

立川駅北口第三有料自転車等駐車場の廃止と 曙陸橋東有料自転車等駐車場の新設について

7 今後の対応と課題

(1) 対応

- ・曙陸橋東の整備工事の実施
 - R5.12.1から自転車定期利用を受け入れ、全面での運営開始

(2) 立川駅周辺での主な課題

- ・施設の偏在の解消
 - 北口東側地域での駐輪場用地の確保
- ・アフターコロナを見据えた運営
 - リモートワーク等による定期利用台数の減少➢一時利用台数の増加
- ・「量」から「質」への転換
 - 自転車駐車の供給は足りているため、「平置きエリアの拡充」など、より快適な駐輪環境づくりを進める